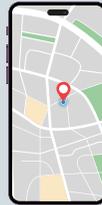


JR亀岡駅周辺の情報はこちら

飲食店・おみやげ・コンビニなど



オリジナルの  
Google マップ  
が開きます。



# 1st Asian Region Citizen's Forum for International Safe Community in Kameoka, Kyoto

11th Safe Community Asia 2025

Thinking about prevention through disaster prevention  
Taking safety measures personally

## 第1回国際安全都市アジア市民大会in 京都・亀岡実行委員会 委員

実行委員長 牧野 光隆 (亀岡市総務部長兼危機管理監)  
副実行委員長 宮川 正志 (セーフコミュニティ防災対策委員会委員長)  
委員 野中 康朗 (亀岡市自治会連合会副会長)  
委員 小谷 重夫 (亀岡交通安全協会 会長)  
委員 高屋 吉昌 (亀岡商工会議所 専務理事)  
監査 明田 賢一 (亀岡消防署 署長)  
監査 隅田 盛和 (亀岡防犯推進委員連絡協議会 会長)

事務局 亀岡市総務部自治防災課内  
〒625-8588 亀岡市安町野々神8番地 ☎0771-55-9560  
✉1sc2008@city.kameoka.lg.jp



一般財団法人  
自治体国際化協会

この事業は、一般財団法人自治体国際化協会の  
助成事業により実施されています。



第1回 国際安全都市アジア市民大会 in 京都・亀岡  
第11回 アジア地域 SC会議  
2025年8月2日 ガレリアかめおか

01

Welcome Message

General Information

02



第1回 国際安全都市  
アジア市民大会  
in 京都・亀岡 大会長

Takahiro Katsuragawa  
亀岡市長 桂川 孝裕

市制70周年記念事業 第1回国際安全都市アジア市民大会in 京都・亀岡がアジア地域のセーフコミュニティ関係者のご参加のもと、開催できましたことを大変光栄に思います。心から歓迎いたします。

本市は、2008年に日本で初めてセーフコミュニティの国際認証を取得し、その後も2013年に再認証、2018年に再々認証、2023年には国内初となる国内認証を取得し、17年以上に渡って安全安心なまちづくりを進めてきました。また、令和7年1月には青森県十和田市、大阪府松原市と「国際安全都市」宣言を行いました。

本大会では、セーフコミュニティを「国際安全都市」と市民の皆様にもよりわかりやすく表現し、本市におけるこれまでの活動成果を国内外に一層広める機会といたします。

今後も、市民の皆様が「住み続けたいまち」、また、「誰もが安心して暮らし続けるまち」の実現に向け取り組んでまいりますので、引き続き皆様方の御理解と御協力を賜りますようお願いいたします。

最後に、御参加の皆さまの御多幸を祈念し、歓迎の御挨拶とさせていただきます。

大会名称

第1回 国際安全都市アジア市民大会 in 京都・亀岡  
第11回 アジア地域セーフコミュニティ会議

テーマ

「防災から事前予防を考える」  
～オーナーシップ(自分事)として捉える安全対策～

コンセプト

自分達のまちは自分達で守る 住み続けたいまち  
誰もが安心して暮らし続けるまちの実現

主催：第1回国際安全都市アジア市民大会in 京都・亀岡実行委員会、亀岡市

大会長 亀岡市長 桂川 孝裕

実行委員長 総務部長兼危機管理監 牧野 光隆

副委員長 セーフコミュニティかめおか防災対策委員会委員長 宮川 正志

委員(次の団体・組織から選出)

亀岡市セーフコミュニティ推進協議会 セーフコミュニティかめおか防災対策委員会

後援

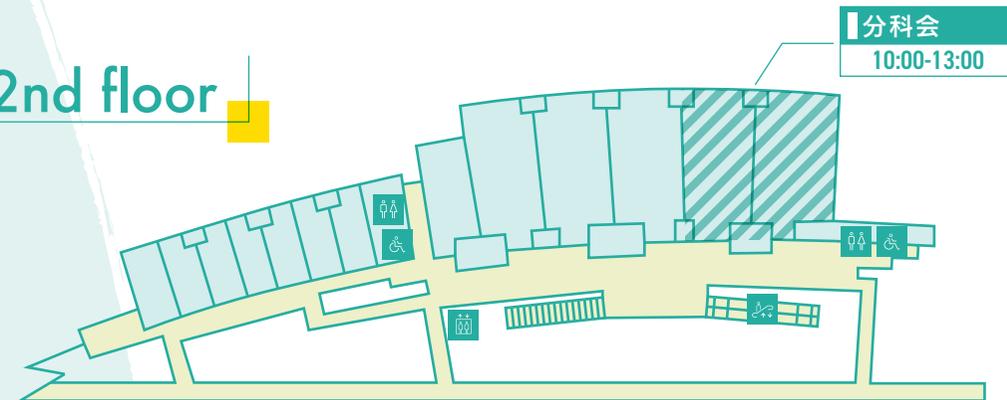
京都府 京都府亀岡警察署 京都中部広域消防組合 亀岡市自治会連合会 亀岡市消防団

京都新聞 NHK 京都放送局 KBS 京都 明治国際医療大学 セーフコミュニティ安全安心のまち

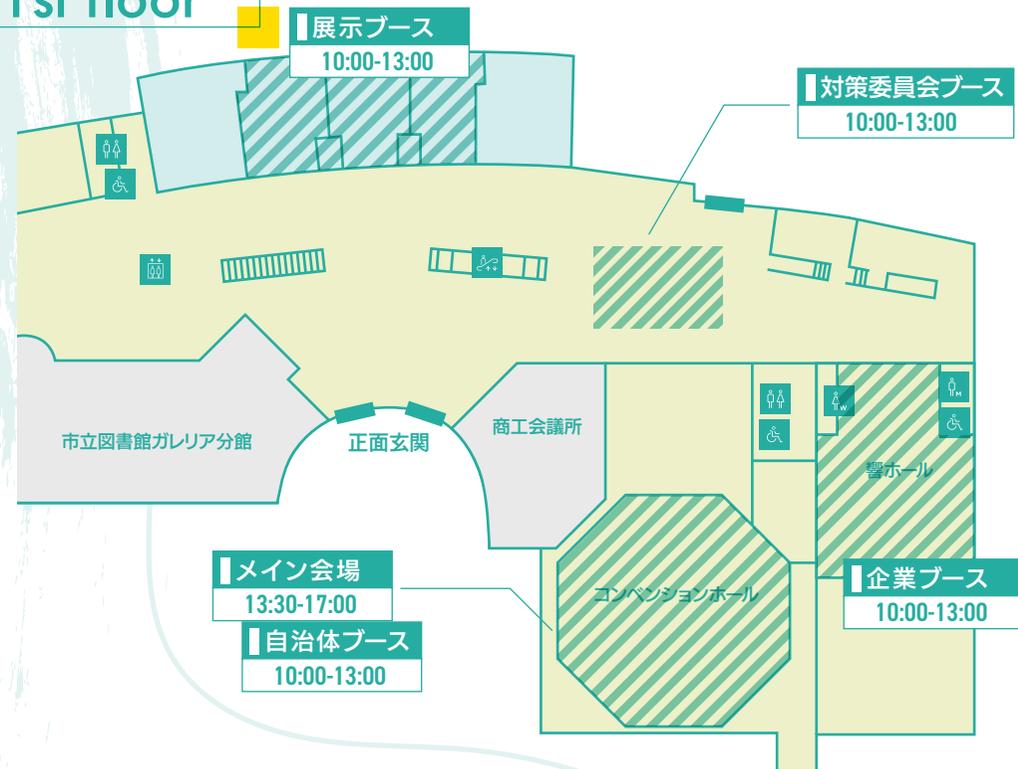
づくり全国協議会 アジア地域セーフコミュニティネットワーク

## 会場のご案内 ガレリアかめおか

## 2nd floor



## 1st floor



## メイン会場

13:30-14:00

## 開会式 オープニング

・出雲風流花踊り ・主催者挨拶 桂川市長 ・来賓紹介

14:05-15:10

## 基調講演

「事前防災の徹底! ~防災庁設置に向けて~」

内閣府大臣官房審議官(防災担当)  
内閣官房 防災庁設置準備室審議官 河合 宏一 さん

「防災・復興における地域の主体的な力を育てるセーフコミュニティ」

国際セーフコミュニティネットワーク副理事長  
医学博士 チョ・ジュンビル さん

15:15-15:45

## 事例発表

・亀岡市 ・松原市 ・タイ・ナーン市

15:55-16:55

## パネルディスカッション

パネリスト:桂川市長、澤井松原市長、海外認証自治体

16:55-17:00

## 閉会式

## その他の会場

10:00-13:00 安全安心イベント

| SC自治体ブース | 民間企業ブース | 対策委員会ブース | SC自治体海外ブース

| 分科会 | 警察、消防、自衛隊車両展示(JA跡地会場)

## 開会式

13:30-14:00

13:00 受付

13:30 オープニング

出雲風流花踊り(演:出雲風流花踊保存会)

13:40 歓迎挨拶

大会長 亀岡市長 桂川 孝裕  
アジア地域 SC 支援センター連合 理事長 パイ・ル(Prof.Pai Lu)

13:50 来賓紹介

## オープニングパフォーマンス

いずもふりゅうはなおどり

## 出雲風流花踊り(演:出雲風流花踊保存会)

亀岡市にある出雲大神宮に古くから伝わる神聖な奉納踊り、「出雲風流花踊り」。  
舞台では、口上役、笛を捧げる者、そして歌方・笛方が奏でる古式ゆかしい音色にのせて、踊り手が一体となり、華麗にして荘厳な世界を繰り広げます。

## 踊りの見どころ

踊り手の手に輝く小太鼓と、そのバチから垂れる優美な「房(ふさ)」です。軽快な太鼓のリズムに合わせ、天を仰ぎ、地を踏みしめる踊り手の躍動。その動きに呼応して、房がまるで花開くかのように華麗な円を描く様は、まさに圧巻です。その一瞬一瞬が織りなす光と動きの芸術を、どうぞお見逃しなく。



## 歓迎挨拶

アジア地域SC支援センター連合  
理事長 パイ・ル(Prof.Pai Lu)

- 博士(統計学)
- 台湾事故傷害・安全促進学会 名誉理事長
- 台湾社區安全推進センター センター長
- 国際セーフコミュニティネットワーク 理事
- アジア地域 SC 支援センター連合 理事長
- 国際セーフコミュニティ公認認証審査員



ジョンズ・ホプキンス大学(アメリカ)等で博士課程及びポスドク(研究員)として教育を受けた後、台湾医科大学及び国防医学院(いずれも台湾)において生物統計学及びセーフティプロモーションを指導してきた。

2002年にSCを台湾に導入して以来、SC支援センターである「台湾社區安全推進センター(TCSPC)」のセンター長として、これまで30を超えるコミュニティを指導し、20以上のコミュニティを認証に導いたことから「台湾のセーフコミュニティの母」として慕われている。さらに、アジア地域SCネットワークの副理事長、アジア地域SC支援センター連合の理事長を務め、台湾だけでなくアジア地域のSC推進に大きく貢献してきた。日本においても、ほぼ全てのSC推進自治体を訪問しており、SC及びセーフスクールの審査及び指導に関わっている。

## 基調講演

14:05-15:10

### 事前防災の徹底！ ～防災庁設置に向けて～

かわい こういち  
河合 宏一



- 内閣府大臣官房審議官(防災担当)
- 内閣官房 防災庁設置準備室 審議官

京都府生まれ。1994年京都大学法学部卒業後、自治省(現・総務省)入庁。内閣官房副長官補(安全保障・危機管理担当)付参事官補佐、総務省大臣官房政策評価広報課評価専門官、外務省在英日本国大使館一等書記官などを務める。その後福岡県企画・地域振興部次長、全国知事会事務局次長、神奈川県県民局長、地方公共団体金融機構資金部長などを歴任し地方自治にも精通している。  
2023年7月に内閣官房船舶活用医療推進本部設立準備室参事官、総務省消防庁総務課長を経て現在に至る。

### 防災・復興における地域の主体的な力を育てるセーフコミュニティ

チョ・ジュンピル(趙 竣秘)



- 医学博士
- 韓国全北特別自治道群山医療センター CEO
- 亜州大学医学部(韓国 水原市) 名誉教授
- 地域安全向上センター(同上)(\*1) センター長
- 国際セーフコミュニティネットワーク 副理事長
- セーフコミュニティ・セーフスクール公認認証審査員
- "International Distinguished Safe Community Career Award"受賞(2010)
- (\*1) セーフコミュニティ支援センター・インターナショナルセーフスクール支援・認証センター

1983年延世大学医学部卒業後、外科医として経験を重ね、1996年より救急外科医となる。受傷による救急外来の患者の治療にあたるなかで事故・けがの予防の重要性を感じるようになり、その後、アメリカでの研究時代にSCの概念に出会い、韓国に帰国後にSCの概念を紹介した。  
2000年に水原市が正式に活動を開始したことをきっかけに、亜州大学医学部に地域安全向上センター(現在、韓国SC支援センター・ISS支援及び認証センターとして認証)を設置した。以降、韓国内にとどまらず、日本を含むアジア地域を中心に国際的にSCを指導・支援を行う。国際SCネットワークの副理事長、アジア地域SC支援センター連合の副理事長として現在のところ、世界的な視点からSCの推進に尽力している。日本においても、ほぼすべてのSC推進自治体を訪問しており、事前指導や現地指導において医療従事者(救命救急医)としての視点とSCの推進における豊富な経験を生かした支援をしている。

## 事例発表

15:15-15:45

## フェーズフリーから事前予防を考える

セーフコミュニティの理念に基づく事前予防の観点から、亀岡市の防災対策について報告するとともに、最近、日本の国土強靱化計画でも取り上げられている「フェーズフリー（日常時と非常時を区別せず、普段使っているモノやサービスを、災害時にも役立つようにデザインすること）」の視点も取り入れた、より安全に安心して生活できるまちづくりについて報告します。

ふじもと よしゆき  
藤本 祥之

亀岡市総務部自治防災課長

京都市生まれ。1993年京都学園大学卒業後、亀岡市役所入庁。  
2013年から5年間、市総務部自治防災課防災・危機管理係長を務め、  
2018年に亀岡市消防団篠分団副分団長、2019年には同分団長に従事。  
28年間、消防団員として活動し、地域防災にも精通している。  
2021年4月から現職の総務部自治防災課長、同年11月から全国セーフコミュニティ推進自治体ネットワーク会議（現、セーフコミュニティ安全安心のまちづくり全国協議会）の事務局長を務め、現在に至る。



## 災害に強いまつばらのまちづくりについて

災害に強いまつばらのまちづくりのため、地震、水害等で松原市がどのような対策を取っているのか。また、セーフコミュニティを通じて、どのように地域と協働し、災害に対する啓発等も含め、取り組みを進めていることを報告します。

きたの ともみ  
北野 智海

松原市市民協働部市民協働課長

大阪府松原市生まれ。1999年松原市役所入庁。  
入庁後から、市民目線と傾聴を心がけ、2004年から人権交流室にて勤務。  
2014年からは、市民協働課に配属となり、主に地域との関わりや国際交流に関する事業を担当。2024年4月からは市民協働課長として、SCをはじめとした協働の取組を進めるため、町会活動に寄り添った事業を展開している。  
安心・安全で協働日本一のまちをつくりあげるため、日々精進しており、現在に至る。



## 事例発表

15:15-15:45

タイ・ナーン市の  
セーフコミュニティの取組紹介

## ティアンスト スラポーン

○タイ・ナーン市長



ナーン市は、2013年に世界で316番目に国際セーフコミュニティとして認証された。現在、ナーン市の人口は現在約 18,000 人で、そのうち 32%が高齢者である。

また、全国レベルでの安全な都市観光のモデル地域として、観光庁から「安全地域」の指定を受けており、メディアを通じて、「ナーン市内での車及び道路の安全な利用」を支援していることを強調している。例えば、バイクの運転者・同乗者の全員がヘルメットを着用する、連帯して交通法規を守る、「道路横断時は手を挙げる・横断歩道を渡る人がいたら車は止まる」キャンペーン、道路横断前には安全のために必ず合図する、といった、市内のあらゆる道路の安全という新たな文化の創造に加わるよう市民に呼びかけている。

## パネルディスカッション

15:55-16:55

## パネリスト

桂川 孝裕 (かつらがわ たかひろ)



京都府亀岡市長

澤井 宏文 (さわい ひろふみ)



大阪府松原市長

蕭琇華 (シャオ ショウファ Hsiao Hsiu-Hua)



台南市南区長

田津勝 (チョン・ジンスン Jeon Jin-seung)



慶尚南道梁山山市安全都市局長

ティアンスト スラポーン (Teinsoot Surapol)



タイ・ナーン市長

## コーディネーター

白石 陽子 (しらいし ようこ)

博士 (政策科学)



- 一般社団法人日本セーフコミュニティ推進機構 代表理事
- 国際セーフコミュニティネットワーク 理事
- アジア地域セーフコミュニティ支援センター連合 事務局長
- 立命館大学衣笠総合研究機構 研究員
- セーフコミュニティ・セーフスクール公認認証審査員

京都府・立命館大学等からなる研究プロジェクトチームの一員としてSC発祥の地であるスウェーデンのカロリンスカ研究所 (医科大学) への派遣がきっかけでSCの研究を始める。2011年「一般社団法人 日本セーフコミュニティ推進機構」を立ち上げる。国外では、2008年から認証センター (韓国) の公認コーディネーター・審査員、2013年からWHO セーフコミュニティ協働センター、2015年から国際セーフコミュニティ認証センターから公認認証審査員として認証され、アジアを中心にSC・ISS活動の支援及び認証審査を行っている。

### 亀岡市セーフコミュニティなどのあゆみ

- 2006 ● セーフコミュニティ取組宣言、推進協議会設置
- 2007 ● 篠町自治会が都市型モデル地区として活動開始  
第4回アジア地域セーフコミュニティ会議(タイ・バンコク)参加
- 2008 ● 全国で初めてセーフコミュニティ国際認証を取得(世界No.132)
- 2011 ● セーフコミュニティサーベイランス委員会などを設置
- 2012 ● 第6回アジア地域セーフコミュニティ会議(東京・豊島区)参加
- 2013 ● セーフコミュニティ再認証を取得  
インターナショナルセーフスクール(ISS)の取り組み宣言
- 2014 ● 第7回アジア地域セーフコミュニティ会議(韓国・プサン)参加
- 2015 ● ISS 初認証(市立普我部小学校、市立保育所8園、亀岡あゆみ保育園)
- 2018 ● セーフコミュニティ再々認証を取得、ISS 再認証を取得
- 2019 ● 第9回アジア地域セーフコミュニティ会議厚木大会参加
- 2021 ● セーフコミュニティ安全安心のまちづくり全国協議会 会長都市に選出
- 2023 ● 日本初のセーフコミュニティ国内認証を取得
- 2024 ● セーフコミュニティ先進地である韓国を視察
- 2025 ● 「国際安全都市」宣言

### 国際安全都市



令和7年1月14日に、東京都の都道府県会館で青森県十和田市、大阪府松原市と共同で「国際安全都市」を宣言しました。

この宣言は、亀岡市がセーフコミュニティ安全安心のまちづくり全国協議会の会長市であり、セーフコミュニティを「国際安全都市」とわかりやすく表現し、その取り組みを一層広げようと、国内のセーフコミュニティ認証自治体に呼び掛けたことで実現しました。

宣言には、「自らの実践を他の地域と共有し、安心安全な社会の形成に向けて貢献する」などの内容を盛り込んでいます。

#### 【国際安全都市】宣言

だれもが安心安全で暮らせるまちづくりは、世界共通の願いである。  
国際基準に基づいた安心安全で暮らせるまちづくりは、1970年代にスウェーデンの地方都市から始まり、その後、WHO(世界保健機関)が推奨する「セーフコミュニティ」という認証制度として世界各地に取り組みが広がっている。

私たちは、セーフコミュニティによる国際基準に則り、「事故」や「けが」など、あらゆる危害は未然に防ぐことができるという理念のもと、「自分たちのまちは自分たちで守る」というオーナーシップの精神で市民協働のまちづくりを進めている。

私たちは自らの実践を他の地域と共有し、安心安全な社会の形成に向けて貢献するため、このセーフコミュニティに取り組む私たちのまちを「国際安全都市」とすることを宣言する。

令和7年1月14日

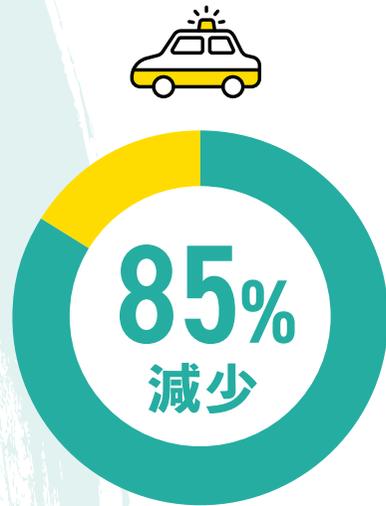
東京都 亀岡市長 程川 孝裕

青森県 十和田市長 小山岡 久

大阪府 松原市長 河野 友文

### 亀岡市の取り組み成果（10万人あたりの件数）

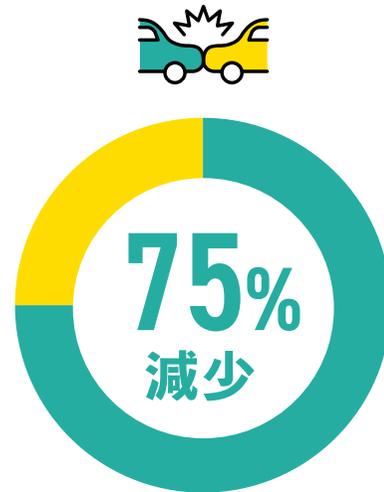
#### 刑法犯認知件数の劇的な減少



2008年との比較で、刑法犯認知件数は約85%減少。全国的に増加傾向にある中で、亀岡市は3年連続で減少し過去最少を記録しています。



#### 交通事故発生件数の着実な減少



同様に、交通事故発生件数も約75%減少。2014年以降は全国平均を下回る低い水準を維持しており、安全な交通環境が実現されています。



### まちを守る「市民の力」

亀岡市の安全は、行政だけでなく、多くの市民や事業所の積極的な参加によって支えられています。これらの市民参加型プロジェクトが、地域全体の防犯・防災意識を高めています。



市内31社の事業所と協定を結び、ドライブレコーダーがまちを見守ります。



2022年から養成講座を開始し、地域の防災リーダーが続々と誕生しています。

#### 「かめおかまち・レコプロジェクト」の仕組み



##### 市民ボランティア

ドライブレコーダーで日常的にまちを見守り



##### 市・警察と連携

事件・事故発生時に映像データを提供協力



##### 犯罪の抑止・解決

「動く防犯カメラ」が安全なまちづくりに貢献



亀岡市の  
魅力を発見!

自然、歴史、  
そして美食を  
巡る旅へ

亀岡市は、豊かな自然に恵まれ、歴史や文化が息づく魅力あふれるまちです。美しい山々や清らかな水が織りなす絶景。そして地元ならではの美味しいグルメの数々が、訪れる人々を温かく迎えてくれます。



03 トロッコ列車

京都の嵯峨嵐山から亀岡まで、約7.3kmの保津川沿いを走る観光列車。保津峡の美しい渓谷美を、レトロな車両に乗って約25分間、ゆったりとした列車の旅を楽しむ。

01 保津川下り

亀岡市から京都の嵐山まで、約16kmの渓流を船頭さんの巧みな竿さばきで下る舟旅。美しい自然を眺めながら、時にはスリリングな急流や穏やかな流れを進む。約90分間の非日常体験が楽しめる。



ラフティングもできる!



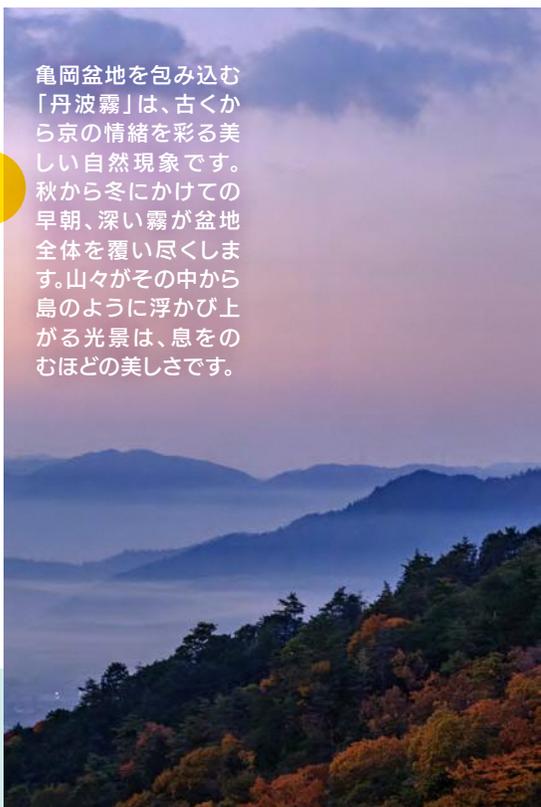
02 湯の花温泉

市内の中心部から約7km、静かな山間にある。ひなびた山峡のいで湯を彩る澄んだ空気と四季折々の自然の景観は都会では味わえない素朴な風情が漂う。



丹波霧

亀岡盆地を包み込む「丹波霧」は、古くから京の情緒を彩る美しい自然現象です。秋から冬にかけての早朝、深い霧が盆地全体を覆い尽くします。山々がその中から島のように浮かび上がる光景は、息をのむほどの美しさです。



04 サンガスタジアム by KYOCERA

JR亀岡駅前に位置する球技専用スタジアム。Jリーグに所属する京都サンガF.C.のホームスタジアムで、ピッチと観客席の距離が近く、迫力あるプレーを間近で体感できる。



京都・亀岡  
05 バルーンフェスティバル

桜舞う4月、京都亀岡の空に色とりどりの気球が舞い上がる。



06 亀岡祭

毎年10月に開催される鎌山神社の秋の例祭で、「丹波の祇園祭」とも称される。亀岡を代表する伝統行事。



07 京都・保津川花火大会

毎年8月に開催される花火大会。西日本最大級の規模を誇る。



「京野菜」をはじめ、新鮮で旬の野菜が豊富に収穫される。

08 亀岡牛

全国的に知られているブランド牛をはじめ、選りすぐりの和牛が出品される近畿東海北陸連合肉牛共進会にて数々の受賞歴を誇るなど、その味は専門家からもお墨付き。

